

総務課 山形 誠

総務課は、庶務・人事・会計・サービス・共済などの事務の他、行政文書の開示事務や個人情報の保護、国家試験の実施などの様々な業務を10人の職員が、それぞれの担当業務を専任で行っております。

この度は、総務課として業務を行っていく上で、各職員が日頃から心掛けていること、また取り組んでいることについて、ご紹介させていただきます。

① 「コミュニケーション」

前述のとおり総務課は、各職員がそれぞれ違う業務を担当しているため、職員同士のコミュニケーションが不足しがちですが、各担当業務の進捗状況及び懸案事項等の確認のため定期的にミーティングを行っております。また、当該ミーティングは、業務以外のことでも何でも気軽に会話、相談できる場にもなっております。このようなミーティングを通じて、情報共有化し、コミュニケーションを深め、職員同士の信頼関係の構築に取り組んでいます。

② 「みんなでやる」

ある担当者の業務で、量的に一人では時間がかかってしまう業務や突発的な業務を短期間でやらなければならない業務等があれば、業務担当者とその他の職員が情報を共有化し積極的に連携協力して当該業務に取り組んでいく体制が構築されています。いつでもバックアップできる体制があることを各職員が意識することで、決して一人で抱え込むこと無く、早期に総務課として共有化し当該業務に取り組んでいきます。

③ 「みんなでいきます！」

上記②の業務が終了した時、総務課としての行事が終わった時などの慰労会、また、業務上トラブルがあった時、職員がプライベートで落ち込んでいる時などリカバリーのため、みんなでお酒を飲みに行きます。特段、何も無い時でも、気軽に声かけし、みんなでリフレッシュできる環境があります。

④ 「チームワーク」

「チーム総務課」として、「all for one one for all」の精神でお互いが課員のことを思いやり、連帯感を持って業務を行っております。各職員はチームの一員としての自覚を持ち、責任感を持って業務を行っております。

⑤ 「ワークライフバランス」

「ワークライフバランス」とは、「仕事と生活の調和」のことです。上記の職場環境、体制のもと各職員は、総務課で仕事することの充実感、達成感を持ち、また精神的にもゆとりを持って仕事ができると共に、生活面においても育児や介護といった諸事情がある中で、家族と過ごす時間、または地域活動や趣味の時間など、心身ともに健康で働き続けられることを目標としております。

以上、総務課として業務を行っていく上での各職員の基本的なスタンスについて記載してまいりました。昨今、職場環境は、定員削減、慢性的な超過勤務、個人情報保護への配慮など職員にとっては心身ともに厳しい職場環境となっております。総務課では、このような環境下で各職員が業務へのモチベーションを維持しながら、健康で働き続けるための基本的かつ重要なスタンスとして上記を位置づけております。

中国四国厚生局と地域の皆様を結ぶ窓口でもある総務課が、十分な役割を果たせるよう、職員個々の資質の向上及び組織目標の達成に向け、職員一丸となって日々邁進して行きたいと思っております。